



学校だより 輝く大滝

令和7年（2025年）

1月7日 第13号

多賀町立大滝小学校

文責：校長 豊原 豪

『やいきる やいぬく やいとげる』～確かな学力・行動力を身につけた大滝っ子～

明けましておめでとうございます。

さあ、新しい年が始まりました。

日本人にとって（おそらく外国の方も）、節目はとても大切です。

新年を迎えて、自分の「目標」や「めあて」を宣言したり、心に誓ったりするのに、

最高の時期です。

お家での（生活や学習）こと、学校での（学習の）こと、友達のこと、それぞれに、1つずつ「目標やめあ

て」があっても良いですね。去年できなかったことでも良いでしょう。新しくチャレンジすることでも良いで

しょう。計画して、前進する力が、成長ですね。



地域・保護者の皆様へ

旧年中は、大変お世話になりました

本年も、どうぞよろしくお願いいたします

さて、2学期の終業式とお正月の有線放送のご挨拶で話した「認知能力と非認知能力」を掲載します。

「認知能力」とは「読み・書き・計算・記憶」などの力で、テストやドリルで測ることができます。

「非認知能力」とは、数値で測りにくい力とされ「意欲・自信・コミュニケーション力・思いやり・忍耐力・自制心・柔軟性」や「生きる土台となる力」「あと伸びする力」「生涯の学びを支える力」とも呼ばれています。他にもたくさん言われていますので、興味がありましたら是非調べてください。

大滝小学校では、体験を重視した活動やたてわり活動が盛んです。児童がそういった活動を成功させるには、様々な力（非認知能力）を駆使する必要があります。例えば、

・「イワナの下準備や、火起こし、焼き加減、時間配分、コミュニケーション、もてなす気配り」がないとイワナ給食は成立しません。

・体育やスポーツ、音楽においても、どこかのタイミングで「コーチが言ってることはこれかな!」と感覚的にわかることがあります。自分が、こつこつと、進んで課題に向き合える力です。「好きなことが伸びる」意味です。

「認知能力と、非認知能力」をバランス良く育むことにより、AIに負けない、人間が持つ感情や多面的な考え方、折り合う力を駆使して、正解がわかりにくい時代の課題へ積極的に働きかける児童の育成に努めます。

また、今以上にキャリア教育の充実に努めたいと考えています。夢を持つ力です。体験重視、施設の充実、STEAM教育、地域密着の学習にも、一層力を入れたいです。

三朝町と、遠隔交流を行いました。(左の写真)

12月12日(木)に、3・4年生が、三朝小3年生、多賀小3年生と遠隔交流を行いました。
今のところは、各校の自慢や町の紹介をし、2月には交流ができるように検討しています。



遠隔の様子



作品作り



作品(5cm程度)



キャプティも登場

炬火受け皿ピース作りを行いました。(上・右の写真)

来年は、滋賀県で「国スポ・障スポ」が開催されます。滋賀県は、炬火(オリンピックの聖火に相当)の台座に、滋賀県の市町代表の児童の粘土作品を貼るという取組をされています。12月13日(金)に、全学年児童が、記念作品と個人が貰う作品を作りました。この後、窯で焼かれ、1つは炬火台へ、1つは個人に戻ってくるとのことです。主会場が彦根と聞いていますので、彦根のスタジアムで観ることができる計画とことです

宇宙のお話を聴きました。

12月16日(月)に、国立宇宙天文台(世界最先端の観測施設を擁する日本の天文学のナショナルセンター、通称NAOJ)の陳先生をお招きし、3~6年生が「子どもふれあい天文学」のお話を聴きました。クイズなどを使って、重力波プロジェクトや、ダークマター、太陽系、アインシュタインのお話をいただきました。



陳先生



右目と左目のずれ



難しい話を簡単に。



将来、君が科学者に。

3学期の 主な予定

1/7	火	3学期始業式 11:20 下校	2/7	金	5・6年スキー教室	3/7	金	本部役員会引継会
8	水	給食開始 身体測定 13:50 下校	8	土	資源回収 (予備;15日)	18	火	卒業式前日準備 (4・5年準備) 6年給食終了
9	木	さんさん号 5校時下校	12	水	特別日課	19	水	卒業証書授与式
10	金	5校時下校	14	金	5・6年(遠隔交流台湾と) 椎茸菌打ち(午後)	21	金	在校生給食終了
22	水	不審者訓練	15	土	資源回収予備	24	月	修了式
24	金	3年親子活動 5校時参観 第6回PTA本部役員会	26	水	6年生を送る会	31	月	離任式
31	金	1日入学・入学説明会						